



ビジネス界

2011
(平成23年)

新春号

1・2

定価800円

平成22年12月20日発行(毎月20日発行)
昭和56年12月28日第3種郵便物認可
第31巻第1号(通巻306号)

広島のリリーダー牽引者に躍り出た

深山英樹「新会頭」と、御三家、副会頭の期待度

福山の
各界リーダー

最強の二期目スタート 福山商工会議所会頭 林 克士
時間の心理学の先生 福山大学学長 松田 文子
福山市政、天敵の直言士 北部再開発努力会 能宗 孝

■政権奪取インタビュー

「自民党」広島二区岸田文雄 二区平岡 洋

広島経済界
ニューフエース
「中村角」社長 中村 一朗

「広島市長」突然、引退劇の波紋!

前二次市副市長・NPO法人「TOM」代表

スクープ

急浮上! 山田利英子「広島市長選」出馬?

●新社長(福山)

メディアアタック心 眞田 奈津基

森川観光グループ会長 森川孝人が語る(最終回)

「森川商法」秘訣の履歴書

表紙の人

山野井 秀樹

広島青年会議所理事長

『福山市政の天敵』

菊屋マンション社長 北部再開発努力会 能宗 孝氏

「曲がつたことが大嫌い」市政に直言!!

福山を語る場合は、この人が登場しないと面白くないし活性化しない。世の中「物申す」人物は多いが、能宗氏ほど戦う直言人は日本広しといえどもいないのではなか。福山市政の天敵でもある。

「行政は業者や組織団体のためにも積極的に仕事をするが、市民のためにはしない」と、三好―羽田市政を批判する。能宗氏は昭和四十一年、アメリカ・カンザス大学留学。その留学時代、『スミソニアン博物館』で日本製の枕時計をみて驚いた。

「日本で残されていない文化遺産をアメリカでは大事に保存し展示している。日本は情けない」と感じてコレクションを始めた。その後の福山自動車時計博物館の開館に繋がった。能宗氏は「市は文化や観光を大事にしない」と、警鐘を鳴らしている。

不正オンパレード 文化遺産は壊すし…

能宗さんほど福山を愛し、街づくりや特に文化面で大変貢献しているのに行政から目の仇にされている。世間じゃお互い「天敵」と言われていますね。

能宗 市が僕を天敵だと見ている。僕は天敵だと思ったことは一度もありませんよ。ただ僕が前の三好市長（故人）時代から現在の羽田市政に対して、ずっと批判をしていることは事実です。批判しているかといって僕は何も悪いことを言っているわけじゃない。市民はみな知っています。だけれど普通、市政はおかしいと思ってもなかなか行政に盾突けない。権力者ですから。僕はそれらの代者みたいなものです。だから嫌われる（笑）。―― 市のどんなところが悪いんですか。

能宗 福山は昔から行政と政治家の利権の巣です。贈収賄事件がいつぱい起こり、逮捕者も何人も出している。全国でも珍しいほどの利権の町と見られている。福山はあらゆる不正のオンパレードです。だから行政を監視しなくちゃいけない。そういったことをはつきり言うので体制派から嫌われ、疎外されてますけど（笑）。そういった体質を変えなくてはいけないのに、三好から羽田市政に代わっても体質が変わらない。いつも誰々が逮捕される、という噂がついて回っている。そういった噂が囁かれているのは、なんでも利権絡みということでしょう。利権がすべてとは言わないまでも市民の望んでいることを聞かない。例えば福山駅前の「広場整備事業」という名称のものにしても、文化を考えないで進めている。

―― 駅前のバスやタクシーターミナル発着場の整備や地下送迎場工事のことですね。

能宗 整備することにイチヤモン付けているわけじゃない。あの辺一帯は歴史的に価値のある福山城の外堀遺構です。それが福山城付近だけ残して全部埋められたところへ列車が走っている。駅前を整備して地下駐車場や送迎場を造ろうと掘ったら石垣が現れ大騒動になった。北口もマンション業者がマンション建てるのに掘ったら石垣が出た。その四百年前の石垣を文化遺産と保存するでなく破壊しながら捨てる行動をしたので、実相寺さんが業者とかけ合って、大量の石垣を保存利用するため実相寺に移転保存してもらった。その石垣が南口にも出た。だから僕ら市民団体は、歴史的な福山城外堀遺構という文化遺産を生かすような整備事業にして欲しいと要望書を出したが、「水辺公園プロジェクト」。こ

博物館で大勢の来館者に接している能宗孝氏



これは水辺公園のある駅前広場計画で、福山城外堀を生かした水辺公園は、市民の憩いの広場で福山の顔として観光資源にもなります。ですが、全

く無視されています。外堀の大部分を壊してのアスファルトとコンクリートの駅前と、木と緑と水という自然を取り入れた広場とどっちがいい

のか。歴史や文化を振り返ろうという時代にまだこんなことをしようとしている。これも僕がかみついている一つ。

なるほど。

能宗 三好時代も観光といいながら、福山八幡宮一带には多くの寺があり、番所もあったところで景観地区と指定されていますけど、その歴史ある川にコンクリート製の棚をした。木ではなく。文化・観光と言いながらやることは反対ばかりです。鞆の問題にしてもそうです。

メタボに疲れて 原点は求める歴史

能宗 異端児だと言われている。もう児ではないが(笑)。嫌われんように黙っていればいいかもしれないが、僕は子供の頃からねじれたことが大嫌い。民間なら生きていく上で、多少色々なこともあるかも知らんが、行政というのは金の心配のいらん税金の中で生活している。その分、市民生活の向上や市民の支援団体という役割がある。そういうことを忘れ、市民の反対ばかりの行政をしている。少なくとも僕の目にはそう映っている。

文化にしてもそうです。これは福山に限ってではないけれど日本国そのものが、アメリカ型の大量生産、大量消費、大量廃棄することで高度成長を成し遂げてきた。ひたすら資

源を消費して生産を拡大してきたが、その結果、自然を破壊し環境を汚染し続けた。今みんなメタボになって、そういった社会に疲れて癒しを求めている。いわば原点に戻りたいと。

そういう時代が来ているのに福山は歴史的な鞆の町、鞆港に橋を架けようとして埋めようとしている。景観を壊すという反対のことばかりしている。どうしてもコンクリート必要だという物以外、セメントやプラスチック等を使った箱物使っても四十年しかもたんのです。日本の場合は昔は五重の塔とか寺とかは、木と泥で出来ているのになぜ千年、五百年もつのか。明治時代、日本のお城はほとんど壊されたけど、昭和三十年代にお城建築ブームで全国のお城がコンクリートと鉄筋で再建されたが人気がない。いくつかのお城が壊されず残った。その代表的なお城が姫路城。あのお城には木造という原点があるから人気があり元気があるわけです。

確かにそうですね。

能宗 日本の気候に合うように昔は住居なんかつくったのに、急に近代文明ということで捨てて、コンクリートや鉄筋の建物になった。

昔、新幹線の橋脚からコンクリートが落ちたと慌てていたが、コンクリートの場合は雨に弱いから屋上は十年はもたない。だから修繕が必要になります。うちのマンションは

全部屋根と樋がある。だから雨風に強い。うちのような樋のある高層マンション日本にはないと思います。

—— とても素敵ですね。ルネッサンス調で、いつ見ても古さが感じられない。

能宗 賃貸マンションには三つのタイプがあつて、一つは貸す人のためのマンション。二つ目が財産のために建てたマンション。三つ目がうちのマンションで、つまり借りる人のためを考えてつくったマンション——これが菊屋マンションです。

—— それに博物館もある。この建物もマンションと同じデザインで統一されていますね。博物館をつくった経緯は。

観光立県の町長が来ても市の関係者は無視

能宗 僕の原点はアメリカ留学で、アメリカで見てきた車社会自体と、緑に恵まれた広い空間の街が目にと焼きついたことです。そして帰国して改めて見た大黒町商店街は、アーケードはぼろぼろに破れ、道路脇の電柱は傾いて車も通れない……。かつて大変賑わっていた商店街が時代から置いてきぼりです。昭和五十四年のことですが、商店街の親父さんや二世たちの有志を二十人募り、北部再開発努力会を結成し、商店街再開発に取り組んだ。最初に取り組んだの

がアーケード撤去。空の見える空間のある街にしようと。反対もあつたけど。道もレンガを使つて全体を、明治鹿鳴館調の建物を考えた。見て楽しい街づくりをコンセプトにした。それが現在の商店街で、平成六年に第一回広島県「景観づくり大賞」を受賞した。全国と同じ立場のある市町村の注目を浴び、視察がひっきりなしだったんです。

—— なるほどねえ。いわゆる改革というのは大変なことです。

能宗 僕の基本は歴史や古い物を守るといことです。僕はアメリカに留学して驚いたのは、アメリカの博物館というのは過去の歴史、生活に密着した記録を保存し残している。それこそリンカーンが生まれた丸太小屋などがきちんと残されている。ワシントンのスミソニアン博物館には江戸時代の枕時計、大名時計とも言われる物が展示してあり、ゼンマイ仕掛けで目覚ましやカレンダーまで装備され、「こんな時計があつた代にあつたのか」と驚かされた。その他、日本ではくだらないと思われる品々なども展示され、この国では日本のそれらが高く評価されていることを知った。僕は、自分の知らない日本のことをアメリカで習う、こんなバカな話があるかと。それで日本に帰り、日本の生活の記録を展示しようと博物館を造ったわけです。

生活の記録というのはつまり古い物であり歴史です。

—— 日本の古い品がねえ。それにしても当時留学したのは？

能宗 祖父と父から「苦労は自分から買つてもでもしろ」と教えられ、皿洗いなどのアルバイトをしながらの留学でした。

—— その頃に留学とは。たいしたもんですね。道理で英語もペラペラ。

能宗 よく回る(笑)。

—— 福山自動車博物館は平成元年に開館していますが、地元福山より米国、ドイツ、イギリスなどの外国の方が有名とか。

能宗 去年もドイツから一団が来ました。福山市は辛口で批判する僕を三好時代から敵視しているので、開館以来、市長や幹部が来たことは一度もない。うちがリサイクルしたボンネットバス「トトロのねこバス」(昭和三十四年製)を、観光先進県の越後湯沢町が「町おこし」に活用したいと申し入れてきた。相手は「町」であるし、観光に役立てたいということなので譲渡したが、わざわざ町長が来福し出発式をしたんですが、福山市からは誰一人来ない。普通なら市長が来なくとも代理の誰かが来てもおかしくない。同じ行政の町長が来てるんですから。観光について意見交換してもいいはずですよ。そんなこともしないで、なにが観光に力ですか。

無視ですね。

能宗 僕が言いすぎるほどズバツト言う。あちらからすると僕がとても煙たい。能宗がおらんようになったらどんなに助かるかと思つとる(笑)。実は去年の五月に頭を強打して二度の手術をした。ところが「能宗がクラバレたらしい、ヤレヤレ」という噂が飛んだ。市長の一派や市とどっぷり癒着しとる利権の関係者の連中が流したらしい。僕と面と向かつて喧嘩したかったら、正体現して来い、と言つて。だけど彼らも利口なんで正体現しやせん(笑)。

—— そりゃ正体現せんでしよう。

能宗 だから嫌がらせばかりする。うちの博物館や自宅の前に包丁がおかれたり、広場に犬や猫の屍骸が度々投げ捨てられたり、小さな放火をされたりします。犬猫を殺して捨てるのか、どこから屍骸を持ってくるのか。残酷なことをする。去年の十二月、博物館の前に凍結防止の塩化カルシウム四袋が置いてあつた。凍結用かなんか知らんですが、博物館ができて二十年以上経つけどこんなこと一度もない。塩袋の中に屍骸が入れてあるかも知れんし、市に言う、業者が置いたのかもしれないと言つて、すぐ引き取りに来た。本当に必要な事情を説明してくれればいいのに、嫌がらせで置いたのか、すぐ引き取つて行つた。コレもおか

産業株式会社



能宗 孝氏プロフィール

1943年(昭和18年)7月4日広島県福山市生まれ。アメリカ・カンザス大学留学後、1966年(昭和41年)株菊屋入社。現在、全国商店街振興組合連合会、商店街活性化アドバイザー、北部再開発努力会代表、福山大黒町商店街振興組合理事、福山自動車時計博物館館長、株式会社菊屋マンション代表取締役。福山市大黒町胡町商店街の再開発として鹿鳴館調の街づくりを推進した中心人物で、全国各地の市町村、商工会議所、商店街から多くの視察団が来町、また「街づくり」の講演は全国各地より依頼がある。現在、福山市内に11ヶ所、630世帯の賃貸マンションを所有する。

観光といいながら市長は
鞆に力を入れない！

天敵にされるのは永遠かも。

いいでしょう。徹底的に僕を敵視して様々な嫌がらせをします。一体誰の指示か。誰かを想像するしかない。

商店街振興組合が設立二十五周年記念として「横山大観安来100年記事業」をやったのですが、その記念講演に僕が講師、まちづくりアドバイザー能宗孝として呼ばれ、「逆転による発想によるまちづくり」の古くものを大切にする心」の演題で講演した。今まちづくり、観光にどこ

能宗 僕は福山を愛してるし、福山のために言わんでもええことをあえて言ってる。嫌われても恐れはせんです。何も疾しいことはしとらんし、一市民の抵抗です。

福山市は僕のこと「くたばれ！」というほど嫌のようですが、それでも他では僕を大変評価してくれている。昨年の十月、安来9号線

も必至です。ところが福山はやる気がちつとも伝わって来んです。そしてやることは時代に逆行することばかり。だから僕は戦っている。

「福山駅前広場整備(地下送迎場)事業計画」について我々は市を訴え、福山市の土地ではなく、JRの土地に不必要な地下送迎場を三十五億円もかけて建設することは違法だとい

う裁判をいま広島でしている。被告は「福山市長」羽田皓です。だからますます嫌われています(笑)。

それは知らなかった。

能宗 鞆の問題でも、何も港湾に橋を架けなくても山側にすれば問題ないのに、どうして港湾埋立て橋を架ける必要があるのか。業者も内々決まって利権絡みだとみな見えています。市がこれだけ全国的にも反対しているのに、しつこく橋だと言っているのはそういった構図があるからだと思う。今、癒しの時代と言われるけど「癒し」というのは「市民」が主でしょう。日本の旅行先だって、歴史のある古い街が好まれている。その伝でいえば「鞆」も、もっと観光客が訪れてもおかしくないんです。その港へギンギラギンの橋が架かってしまえば、どうでしょう？ 室町時代から続く鞆の魅力は半減するんじゃないですか。

個人的にはそう思いますね。

能宗 住む人の色々な事情もあるでしょうが、大方は「なぜ？」と思っている。今はどこも観光に力を入れている。福山にとって鞆は最高の観光資源です。『龍馬伝』によって大分盛り上がっています。鞆には坂本龍馬の海援隊のいろは丸事件があったり、龍馬のゆかりの地で、いろは丸館に行けば龍馬のことが色々展示説明されているが、僕がとてもおか

しいと思うのは、龍馬が持っていた拳銃、スミスアンドウェッソンは坂本龍馬が所持していたNo.1とNo.2は有名です。そのピストルが福山市鞆の浦歴史民俗資料館で、8月まで展示されていた。「いろは丸」は紀州藩の船と衝突したときにはミニエー銃1000丁を積んでいたという。

NHKでも放映されたように坂本龍馬が所持していた同型のスミスアンドウェッソンの拳銃は高知県立坂本龍馬記念館に展示され多くの客を呼んでいる。福山市鞆の浦歴史民俗資料館においては6月3日から8月29日まで展示されていたが、NHKの放映中にスミスアンドウェッソンは展示されていない。資料館では6月3日から8月29日のみになっている。観光、龍馬というんなら常時展示されるべきです。

そしておかしいのは観光といいながら羽田市長が市長になって一度も「いろは丸館」や重要文化財の「大田家住宅」に訪れていないことです。おかしいと思いませんか。だから僕は噛みついていて。噛みつけば「アイツめが！」と目の仇にされつく。僕はアメリカに行つて、イエスカノ1かはつきりしろとボロカスに怒られて、日本に帰ってハッキリ言うて、ハッキリ言うからいけん、と怒られて。なんにも疾しいことないんで、福山のために言い続ける。